



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和2年7月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
7号
2020年
No.211

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

日常生活、経済活動を再開させるために

「志公会と語る夕べ」開催 第二波、第三波への強い警戒を持って

7月16日に延期されておりました「志公会と語る夕べ」が開催されます。全国的に大型パーティやイベントなどが延期、中止される中で、政策集団のパーティとしては初のパーティということになります。

「志公会と語る夕べ」の開催に際し、日本感染症学会の館田一博理事長にアドバイスと監修を求めることになりました。館田理事長は、東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授で、政府の新型インフルエンザ等対策閣僚会議の「基本的対処方針等諮問委員会」と「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」の委員でもいらっしゃいます。そして、金沢区在住ということで松本のことをご存じでした。



日本感染症学会の館田一博理事長(東邦大学医学部教授)と

会談の冒頭、松本から東京での抗体検査の結果0.1%しか抗体保有者がいなかったことに関して驚きを持っており、第二波第三波に対する強い警戒を持っているという意を伝えました。それに対して、館田理事長は、関係者の懸命の努力により第一波は現状一定の抑制を得ている。ウイルスは体内に入れば症状の有無にかかわらず抗体ができる。それにもかかわらず抗体検査での陽性率がここまで低いということはウイルス自体の抑え込みが上手くいっていることを示している。今後は過度に全ての活動を自粛したままにしておくわけにはいかない。マスク着用、体調の優れない方は外出しないなどの基本的な対応を徹底しながら、どのように日常活動、経済活動を再開させていくかを考えていくべきとの認識を示されました。そして、現在、関係者の献身的努力で、医療制度は何とか維持されているが、長期化で疲弊が進んでいるとし、国や行政による更なる積極的支援の必要性について述べられました。

松本は二次補正予算による緊急包括支援交付金の拡充(2.2兆円)による医療機関と医療従事者支援について述べ、確実なサポートをお約束し、現場として、必要なことがあればぜひ今後とも指導いただきたいとお願いしました。

「志公会と語る夕べ」の開催計画について、日本感染症学会の館田理事長(東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授)のご指導の下で会場図面を用いた具体的な内容を一つ一つ丁寧に計画を調整していきました。

▷飲食は提供しない ▷講演のみでソーシャルディスタンス確保できる体制での着座 ▷通常1会場を3会場(2会場は中継)にし会場の密を防ぐ ▷マスク着用、検温の上で入場 という計画となりました。

「志公会と語る夕べ」は、会場に来られない方のためにインターネット中継も予定しています。詳細はチケットを購入された方に、当日注意事項とともに郵送でお知らせいたします。

緊急事態宣言は解除されたものの新型コロナウイルス感染症の撲滅には至らず、皆様にはご心配ご不便をおかけしております。政府・自民党は緊急対策としての一次補正予算に加え、支援をさらに拡充した二次補正予算を成立させました。今回の二次補正予算では皆様からの声を反映させる形で多岐にわたる分野での追加の支援策を用意しました。二次補正予算は、1 地域・医療、2 雇用、3 生活・家計、4 事業の継続に関して、手厚い支援を用意しました。具体的内容に関しては、自民党特設サイトをご覧ください。



※ 例年この時期に開催しておりました「松本純政経セミナー」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

<https://www.jimin.jp/covid19/>
自民党特設サイトアドレスです。

いま地域で
(人・まち・出来事)

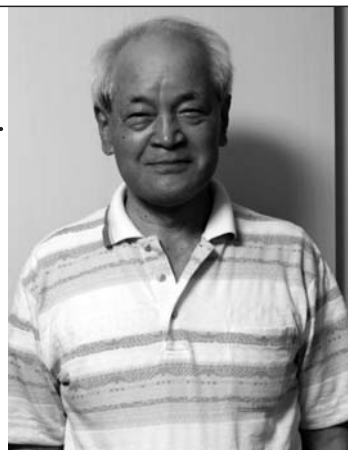
長寿の仲間づくりで、詐欺や防災対策も

末吉町3・4町内会万年青会(おもとかい)会長 菊地正綱さん(中区)

日本の高齢化はより加速し、2030年には高齢者(65歳以上)人口割合が、国民全体の3割を超えることが予測されています。「長寿化」社会に生きがいを持ち、安心して暮らしていくためには、健康で自立し、身近な仲間と支え合える、住みよい地域づくりを進めることが切実なテーマです。では、孤独になりがちな高齢者はどうすればいいのか？

「まずは、外に出て仲間づくりをしてもらいたい」と話すのは中区末吉町3丁目在住の菊地正綱さん(77歳)。菊地さんは、末吉町3・4町内会長を10年間務めたのち、現在は老人クラブ「万年青会」の3代目会長として、町内の高齢者たちの交流の場づくりに10年間携わってきました。「行動範囲を広げれば、そこで出会う人たちから様々な刺激を受け、認知症予防にも効果があるといわれます」と菊地さん。「私たちは、孤独になりがちな高齢者に声をかけ、町内の行事や、3か月毎に開催するお誕生日会などのイベントに参加してもらっています」。

現在、会員は76世帯95名。毎回約70名が参加するお誕生日会は、伊勢佐木警察署や区役所担当者を招き、各種詐欺対策の防犯講話、台風災害への防災講話など、高齢者に役立つ情報交換の場としても好評を博しています。「万年青会を通じて、久しぶりに会話を楽しんだという方もいらっしゃるんですよ」と、菊地さんは笑顔で話してくださいました。



菊地会長

【2020年6月】

松本議員の活動記録

2日●自民党役員連絡会

●議院運営委員会と党理事懇談会

3日●日本薬剤師連盟要望・説明(来年度の薬価中間年改定について)

●財務省説明(令和2年度第2次補正予算案(予備費)について)

5日●予算委員会と党理事懇談会

8日●本会議(国務大臣の演説◎財政について：麻生太郎財務大臣)

●日本薬業政治連盟面談(薬価の中間年改定について)

9日●国会対策委員会

10日●本会議(令和2年度一般会計補正予算(第2号)など)

11日●厚生労働省説明(医薬品並びに製薬産業について)

●国土交通省説明(最近の河川行政と今後の取り組みについて)

●バイオシミラー協議会要望

●日本OTC医薬品協会要望

15日●J A 神奈川県中央会挨拶



6/8 日本薬業政治連盟面談

●日本薬業政治連盟鹿目広行会長から薬価の中間年改定についての要請を受けました。新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波により薬価調査の実施不可能となる懸念からです。



6/11 日本OTC医薬品協会要望

●日本OTC医薬品協会上原明副会長から、骨太の方針における、一般用医薬品等の普及等によるセルフメディケーション(自己健康管理)の推進について要請を受けました。



6/11 バイオシミラー協議会要望

●日本バイオシミラー協議会南部静洋会長、黒川達夫理事長、亀山良雄代表委員会副委員長から、バイオシミラーの研究開発・普及・振興策への要請を受けました。



6/15 J A 神奈川県中央会ご挨拶

●神奈川県農業協同組合中央会の長嶋喜満会長が退任挨拶に来館。6月29日就任予定の大川良一会長、平本光男副会長のご紹介をして頂きました。

永田町日記

二次補正予算で10兆円の予備費が実現

6月17日、無事に二次補正予算を通過させ150日間に及ぶ通常国会が終わりました。政府与党の一番の仕事は法律を作る立法とともに予算を成立させることです。国の行政はすべて予算で動いており、様々な施策も予算なしでは実施できないのです。その意味では予算というのが一番大切ともいえるのです。

今国会では、通常の一般会計予算に加え、新型コロナウイルス感染症対策などの緊急策として一次補正予算、二次補正予算を提出し成立させることができました。そして、二次補正予算では10兆円という予備費を設けることになりました。これは第二波の到来など緊急対策が必要になった場合に機動的に使える資金の確保が目的です。給付の遅れなど多くの方々におしかりを受けましたが、制度上、予算の手当てが先になされない限り、実際の給付作業に入れないためであり、予備費はこれを改善するための方策ということになります。

松本純は今後も国会対策委員長代理として、迅速かつ適切な国会運営を支えてゆきます。

